

OKIU

Vol. 114

2020
SUMMER

MAGAZINE



- 2 沖縄国際大学
三役ご挨拶
- 3 特集1
羽ばたく卒業生たち
- 10 特集2
新入生を紹介します
- 12 キャリア支援情報
- 16 OKIU青春白書 特別編
～活躍する卒業生たち～
- 22 NEWS TOPICS
ニュース・トピックス
- 26 研究室探訪
- 30 クラブ・サークル
紹介
- 34 クラブ・サークル
活動実績
- 36 予算・決算でみる
沖縄国際大学
- 38 人事情報
- 40 大学行事案内



学長
前津 榮健

学修環境の向上をめざします

沖縄国際大学は、「真の自由と、自治の確立」を建学の精神として、1972年2月に設立された地域密着型の大学です。地域に根ざし世界に開かれた大学を目指し、地域のリーダーとして世界に羽ばたく人材の育成に取り組んできました。

本学は、これまで返済不要の給付型奨学金の充実に力を入れ、兄弟姉妹等支援奨学金、離島・遠隔地出身学生支援奨学金をはじめ数多くの奨学金制度があります。また、今年後期には待望の学生会館が竣工します。これからも学生の皆さんが安心・快適に学べる学修環境の整備に取り組んでまいります。



副学長
小柳 正弘

しんばはいも あらうごと 進歩ハ芋を洗ふ如し(田中正造)

どのような学問にも、どうしたら人間のありようがもう少しましになるかを考えようとするところがあります。土のついた芋が何度も洗いなおされて白くなるように、そうした人間の進歩は自分や社会のあたりまえの現実を繰り返しかえし問いなおすことでかたちになる、と田中正造-花崎皐平はいます。大学がそのような場になればよいと思っはいるのですが、私自身についていえば思想を行為にうつすのはなかなか難しいと実感するばかりの副学長としての毎日です。



常務理事
鵜池 幸雄

「大学生活の充実を図ります」

皆さんこんにちは、常務理事の鵜池です。常務理事の職務は、学生・教職員の皆さんの大学生活を支える沖縄国際大学の法人部門の管理・責任者として、財政、施設・設備をはじめとする大学環境の充実に取り組んでいます。沖縄国際大学の毎年度の事業計画の策定・実施や、学生会館の竣工などをはじめとして、皆さんの大学生活が、より快適で充実したものとなるよう努力していきます。

特集1

羽ばたく卒業生たち

令和元年度卒業式

2020年3月19日、本学におきまして第48回卒業式並びに第22回大学院修了式を挙りました。本来であれば、講堂兼体育館で卒業生一同や保護者の皆さまが集い、盛大に執り行われるはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を縮小して行いました。学内への入構も卒業生に限定し、会場を各教室に割り当て、学科単位での分散開催と致しました。このような状況にありましたが、どの教室でも卒業生たちには笑顔があふれ、友人や教職員と喜びをわかちあう様子が見られました。

本学所定の課程を修了した、学部卒業生1,142名、大学院修了生17名の計1,159名がそれぞれの目標や夢に向けて、新たな一歩を踏み出しました。



式では、前津榮健学長と小柳正弘副学長より、学部卒業生及び大学院修了生の代表に、卒業証書・学位記が授与されました。また、学業や課外活動・スポーツなどで顕著な功績があり、他学生の模範となる卒業生に対しての表彰も行われました。



大学院などのさらなる学びの場や、社会という新たな世界に羽ばたいていく卒業生たち。本学で、多くの学び、多くの友人を得て、また大きな想いを胸に卒業していきます。今回は、表彰を受けた卒業生に、彼らの功績や今後の輝かしい未来についてなど、いろいろとインタビューしましたので紹介します。



與那城 亜美

英米言語文化学科 4年次

私にとって大学生生活を一言で表すと「変化」です。勉強の質や幅が大きく変わり、面白い先生との出会いや、国籍を越えた友人がたくさんできました。そしてなにより、新しい自分と出会うことが出来ました。人は新しく変化することを恐れがちですが、周りに支えられて私はその一歩を踏み出しました。大学で得たもの全てを大切に、これからも絶えず変化し続けていきたいと思います。



学部長賞

仲里 智哉

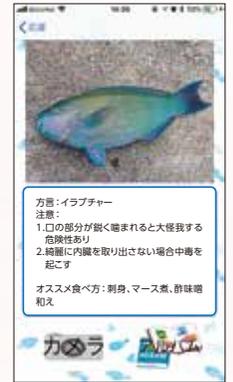
なか ざと とも や

産業情報学部 産業情報学科
2019年度卒業
(首里東高校出身)

仲里さんが制作した「釣り支援アプリ」(機能の一例)



釣った魚の写真を
アプリ内の
「おさかなカメラ」
で撮ると



釣りに関する情報、釣りをより楽しくする様々なメニューが搭載された、まさに「釣り支援」アプリ

「IT津梁まつり2020(学生プレゼン部門)」で 最優秀賞を受賞!

「IT津梁まつり」は沖縄県の第二のリーディング産業であるIT関連産業の更なる発展を目指し、未来のIT人材創造を目的に開催されています。県内のIT関連産業に対する理解を深めてもらうため、教育機関や民間企業がブースを出展し、さまざまなIT体験を提供する、県内最大級のITイベントです。

沖縄国際大学では毎年のように出場・出展しており、今回は産業情報学科の仲里智哉さんが「学生プレゼン部門」にてみごと最優秀賞を受賞しました。また、その功績が評価され卒業式では学生表彰(学部長賞)を受賞しました。

——— 本学の産業情報学科を選んだ理由を教えてください。

実は高校生のころは保育士になりたいと思っていたのですが、ものづくりに関してもとても興味があったので、情報系の分野とどちらに進もうか迷っていました。

そんな時に、私の高校の先輩や、同級生の兄が本学の産業情報学科に通っていることがわかり、学科でどのような講義があるのか、それ以外にも大学生活全般について詳しく話を聞くことができました。やはり、在学生の生の声を聞いたことは大きかったです。単純に、沖国大での大学生活がとても楽しそうだということを感じましたし、オープンキャンパスで体験講座も受講して、講義の魅力も実際に感じる事ができたので沖国大に進学しました。

——— 大学に入学したらこんなことがしたい!という目標などはありましたか?

情報系の学科ですから、いつかは自分でアプリやウェブサイトを作り上げてみたいと思っていました。結果としてアプリを完成させることができましたし、その制作に関する卒業論文も書き上げることができましたので、目標は達成できたかなと思っています。

また、それをIT津梁まつりという場で発表することもできて、さらに最優秀賞という形で評価して頂けたことはとても嬉しく思っています。



——— 最優秀賞を受賞したプレゼンの内容について教えてください。

IT津梁まつりは、出展とプレゼン部門に分かれていて、出展に関しては企業や大学、専門学校などが、ITに関する製品や技術、研究成果などを発表する場となっています。私はプレゼン部門のほうに出場し、自分が制作した卒業論文の内容をプレゼンしました。タイトルは「沖縄の海釣り事情と支援アプリの制作」というものです。自分の好きなことに繋げて制作したいと思っていたので「釣り」を選びました。ご存じのとおり、沖縄はマリレジャーが盛んです。その中にはダイビング、海水浴、釣りなどがあります。しかし、これらの中でも「釣り」に関しては情報が比較的少なく、初心者の方が楽しむことが難しいという現状があります。そこで、魚の知識や、釣り場、安全対策の情報、楽しみ方などをまとめて提供できる支援アプリが作れたらおもしろいと考え、卒論のテーマとしました。そして、今回のIT津梁まつりではそれに少し手を加えて発表しました。

——産業情報学科では4年間でどのようなことを学んできましたか？



産業情報学科では産業経済分野と情報分野を融合したカリキュラムが編成されています。情報系の講義だけではなく、例えば、経済数学やミクロ経済、マクロ経済、金融論など、経済についても学んでいきます。情報系では、プログラミングやデータベース、CGアニメーション、人工知能についての講義などを受講し、幅広く学んできました。

また、本学の産業情報学部には産学間の連携事業や学術交流を目的とした「産学協力会」が設立されています。私も3年次の時に協力会加盟の企業との共同プロジェクトに参加し、ウェブマーケティングについて学ぶことができました。なかなか学生のうちに経験できることではないので、とても貴重な学びだったと思っています。

——就職活動はどのように進めていましたか？

合同企業説明会に参加したり、共同プログラムでお世話になった会社の試験を受けたりしていました。また、IT系に進んでいる先輩方もたくさんいたので、その先輩方からお話を聞いたりアドバイスを頂いたりして、就職活動を進めました。自分が仕事としてやりたいことも少しずつ明確になっていき、最終的にはマッチする会社を見つけることができました。沖縄のIT総合サービス企業「株式会社リウコム」さんから内定を頂きました。4月からはいよいよ社会人となりますが、とにかくがむしゃらに技術や社会人として必要な力を吸収して成長していきたいと思っています。

——冲国大に興味を持っている高校生の皆さんへ一言お願いします。

冲国大では、どの学科でも楽しい大学生活を送ることができると思いますが、情報系の知識というのは、将来どの分野に進むにしても必要な時代になっています。私が所属していたゼミでは発表会やその後の交流会などでも、よく卒業生が参加していました。

同世代や学内の先輩だけでなく、先に社会にでて経験を積んだ先輩方からも話を聞くことで、縦の繋がりも持つことができました。ぜひ産業情報学科でたくさんのことを学んで下さい。



学部長賞

宮城 伸亮

みやぎ のぶ たか

総合文化学部 日本文化学科
2019年度卒業
(小禄高校出身)



図書館司書採用試験に現役合格!

沖縄国際大学では全学科で図書館司書資格の取得が可能です。令和元年度は日本文化学科の宮城伸亮さんが見事に現役合格を果たしました。

また、その功績が評価され卒業式では学生表彰(学部長賞)を受賞しました。「本が好き」「図書館が好き」という気持ちと、たくさんの努力で狭き門を突破した宮城さんに、そのきっかけから試験対策、今後の目標など、いろいろとお話を伺いました。

——図書館司書を志したきっかけを教えてください。

私の両親は本が好きで、私は幼少の頃からよく図書館に連れて行ってもらっていました。

図書館というものがとても身近に感じられるような環境で育ち、私自身も本がとても好きになりました。図書館に何度も通ううちに、自分が知らない本でも聞けば必ずその本の場所へ案内してくれる司書さんのことを「とてもたくさんの知識をもったすごい人」というふうに幼心におもうようになりました。そこから漠然と「司書さんになりたい」と考えるようになりました。

——本学の日本文化学科を選んだ理由を教えてください。

高校生になる頃には、かなり明確に「司書になりたい」と思っていたので、「司書になるためにどのような勉強ができるか」ということを第一条件に大学選びをしていました。

本学が県内で唯一、図書館司書の専門的なカリキュラムがあるということで、沖縄国際大学に進学したいと考えたのですが、当時「沖縄の図書館は方言などその土地の文化について書かれた地域資料が他府県に比べてよく利用されている」という記事をみたことがあり、それなら沖縄（琉球）についてもあわせて学ぶことができる日本文化学科に入りたいと思い、ここに決めました。

——大学に入学したらこんなことがしたい!という目標などはありましたか?

とにかくいろんなことに挑戦しようと思っていました。大学でどのような勉強ができるのか、どのような体験ができるのかとても楽しみにしていたので、与えられたものは全て吸収できるようにして、さらには自分からも発信できるようになりたいと思っていました。またサークルには絶対入ろうと思っていたので、美術サークルに入りました。そこで培った工作技術は、図書館で働くうえで、館内装飾やポップ制作などにもいきってくるのではないかなと思っています。



——高校生や在学生の皆さんに教えたいたい本学図書館の活用法などありますか?

本学の図書館は蔵書だけでなく、環境やサービスが本当に充実していると思います。何か調べものをするときにウィキペディアなどで簡単に済ませてしまう学生も多いと思いますが、本学の図書館にはオンラインで学術雑誌を閲覧することのできる電子ジャーナルや、学術情報、辞書、新聞などのデータベースもたくさんあります。それらの利用方法を教えてくれるガイダンスも開催されているので、ぜひ受講して図書館をフル活用してほしいですし、図書館のすごさを感じてほしいと思います。



——図書館司書の公務員試験対策はどのように行っていましたか?

本学のキャリア支援課が企画している公務員試験対策講座を受講して勉強していました。3年次からの受講に備えて、1~2年次ではしっかり単位をとって、アルバイトをしてお金を貯めて、公務員試験対策の勉強により集中しやすい環境を整える工夫をしました。一次試験はこの対策講座や自主学習をメインに取り組みました。二次試験は小論文と面接なのですが、どんな題材にも対応できるよう自分の小論文の形を模索したり、いろいろな題材で実際に小論文を書くなどして対策を行いました。

——図書館司書としての目標を教えてください。

私が卒業した中学校の図書館がとても環境が良かったんです。当時は児童文学しか読んでいなかったのですが、生徒が一般書に手をのばしてしまうような、うまいレイアウトがされていたりして、生徒たちの読書の幅を広げるような蔵書の構築や様々な工夫がなされていました。この発見をした時に「自分もこんなことができる司書になりたい!」と思ったのと同時に、とても感動したのをおぼえています。今でもこのことは、私が図書館司書を目指した想いの根底にずっとあります。私は4月から与勝高校の図書館で勤務することになるのですが、このように利用者のことを常に考えて、生徒や先生方と距離の近い図書館司書になることが目標です。

——図書館司書を志している高校生や在学生の皆さんへ一言お願いします。

何でもいろいろと経験している人のほうが履歴書を書くうえでも、実際の面接でも強いです。図書館司書は、ただ本のことに詳しくればいい、ただ書架を整理していればいいというものではなく、人と人の繋がりが重要な仕事だと思っています。利用者に対してレファレンスサービス（調べもの案内）を行ったりもしますので、相手の気持ちに寄り添う姿勢が必要になる職種です。ですから、とにかくいろいろなことに挑戦して、経験して、人と積極的に繋がれるような学びを得てほしいと思います。



Hello New Student

新入生を紹介します!

新たなスタートラインに立ち、大学での学び、新生活に胸を躍らせる新入生たち。彼らに、今の気持ちや意気込みを一言で表現してもらいました!



地域行政学科
根間 悠夏
ネマ ハルカ



経済学科
村山 竜太
ムラヤマ リュウタ



地域環境政策学科
池田 杜巴
イケダ トウ



企業システム学科
上江洲 未侑
ウエス ミユウ



企業システム学科
宮城 琴菜
ミヤギ コナ



法律学科
長嶺 駿平
ナガミネ シュンペイ



産業情報学科
岸本 涼輝
キシモト リョウキ



日本文化学科
原 野愛
ハラ ノア



社会文化学科
吉永 樺凜
ヨシナガ カリン



英米言語文化学科
仲榮真 和博 デイヴィッド
ナカエマ カズヒロ デイヴィッド



人間福祉学科 社会福祉専攻
仲西 愛伽
ナカニシ マナカ



人間福祉学科
心理カウンセリング専攻
大城 千愛
オオシロ チアキ

キャリア 支援情報

1・2年生のための就職活動入門!

どの学生にとっても就職活動は初めての体験。どのように進めて良いのか不安や迷いがあるのは当然です。特に1・2年生だと何から始めれば良いのかわからないことばかりだと思います。キャリア支援課(本館3階)では、一人ひとりの進路設計をお手伝いするために様々なサポートを行っています。まずはキャリア支援課に足を運んでみましょう♪

◆ 充実した就職資料

キャリア支援課に併設している資料コーナーでは、就職に関する各種資料を取り揃えています。ビジネス書や各種資格試験の参考書だけでなく、県内外企業からの求人票、企業個別ファイル、就職情報誌など、就職・キャリアに関する資料が閲覧できます。就職試験の勉強や企業研究に活用してください!



◆ キャリアカウンセラーによる就職相談

キャリア支援課スタッフによる就職相談のほか、毎週火・水曜日にキャリアカウンセラーによる進路相談、模擬面接、履歴書・エントリーシートの添削などを行っています。専門家のアドバイスを参考に自分なりの就職活動を着実に進めていきましょう♪

◆ バリエティ豊富な就活プログラム

その他にも年間を通して様々なプログラム(セミナーや講座など)を設けています。就職活動に近道はありませんが、頑張った分だけ自分の成長につながります。バリエティ豊富なキャリア支援課のプログラムを活用しながら、じっくり将来の進路について考えてみましょう♪また、先生のアドバイスや先輩の体験談、同じ仲間との情報交換なども大切です。

年間を通して行っている 就活プログラム

- 共通科目「キャリア教育科目群」との連携
- 出張キャリアガイダンス(ゼミ単位での実施)
- 資格取得・就職支援講座(詳細は14ページ)
- 筆記試験対策講座(GPI・教養)
- 各種就活支援講座・セミナー

学生サポーターに 聞いてみよう

就職活動は初めての体験で、不安や悩みが多いものです。そんな不安や悩みは実際に就職活動を終えたばかりの先輩に相談することで解消しましょう!これから就職活動を始めるとしては、気軽に先輩の実体験を聞けるまたとない場です。ぜひ活用してください!! ※学生サポーターは、就職内定が決まる11月~12月頃からキャリア支援課に常駐しています。

就職内定を掴みとった先輩からのメッセージ!



周りの支えに感謝

JAおきなわ(沖縄県農業協同組合)

池原 元気 [いけはら げんき]

法律学科 2019年度卒業 コザ高校出身

私の就職活動では、常に誰かの支えがあり、その支えと共に内定という最後のゴールまでたどり着くことができました。自分自身で取り組むことはもちろん大切ですが、他者からの情報や視点があることで多角的に物事を見ることができ、豊富な考え方やヒントを得られます。特に面接練習やグループディスカッションでは、複数の方と協力をして評価を頂き、自信にもつながりました。就職活動では、様々な悩みがあり自分を見失う事もよくありますが、そんな時はキャリア支援課や就活仲間、家族が力になってくれます。自分だけで考えずに相談をしたり、たまにはリフレッシュもして、相互扶助で頑張ってください。

インターンシップに チャレンジ!

本学では夏期休業期間中に企業や官公庁でのインターンシップを実施しています。就業体験を行うことで、志望する業界研究や将来の姿を考えるチャンスになります♪学科によって対象年次が異なりますので、履修ガイドで確認してください。
募集説明会は4月下旬~5月上旬頃に開催しますので、詳細は冲国大ポータル
の学内連絡を確認してください。

資格取得・就職支援講座で キャリアアップ!

「将来のキャリアを考えると在学中に何か資格を取得しておきたい。」「就職試験に備えて勉強しておきたい。」そんな学生のためにキャリア支援課では、外部提携(有料)による資格取得や国家資格試験などの資格取得・就職支援講座を企画しています。また、各種検定試験の受付なども行っています。

※申込み人数によっては、講座が閉講になることもありますので、予めご了承ください。

資格取得・就職支援講座利用のメリット

◆ 安価な受講料

受講生の経済的な負担を考慮。市場より安価な金額設定となっています。
※卒業生も同額で受講可能!

◆ プロによる講義

各分野で実績のある講師陣が丁寧に指導します。独学では得がたい実践的な知識、出題傾向に基づくテクニックを身につけることができます。

◆ 学内で受講可能

各講座は学内での実施となり、時間のロスや交通費の負担はありません。講座時間帯は講義終了後となっているため、日頃の学業と並行して、勉学に励むことができます。

2020年度開講予定講座一覧

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ●公務員試験対策講座 | ●Word文書処理技能認定試験対策講座 |
| ●公務員試験対策 単科講座【数的処理】 | ●Excel表計算処理技能認定試験対策講座 |
| ●色彩検定2級対策講座 | ●ファイリングデザイナー検定対策講座 |
| ●秘書技能検定2級対策総合講座 | ●行政書士試験対策講座 |
| ●ガイドプランナー 2級対策講座 | ●宅地建物取引士試験対策講座 |
| ●調剤薬局事務講座 | ●ビジネス実務法務検定3級対策講座 |

本館3階 **キャリア支援課窓口** 受付時間 9:00~19:00(月~金)

就職 関連窓口 **TEL:098-893-7779** 資格 関連窓口 **TEL:098-893-3293**

https://www.okiu.ac.jp/career_support

沖縄国際大学 キャリアサポート助成

本学では、本学の学部在籍する学生が、正課内科目の延長線上に位置付けられる各種資格や各種検定試験等について、正課外における自主的な学習(個人学習)により、合格(資格取得を含む)に至った場合、当該学生の努力を讃えと共に、より高度な資格や技能を身につけることを奨励するため、資格取得者自身による申請に基づき、所定の学生補助金を支給しております。在学生の皆様につきましては、正課内科目において自ら習得した知識や技術検定や資格に挑戦・合格することで、就職活動やその後の自身のキャリアにも役立つ力強い“武器”になります。自身の時間を有効に使い、学生生活をより豊かにしていきましょう。

● 対象者

本学学部在籍する学生。

● 対象資格・検定試験等 及び助成金額

詳細は、ポータル(学内掲示)でご確認ください。

● 申請場所

本館3階キャリア支援課窓口

※窓口受付:学年暦に基づいた業務日
(平日[月~金]の9:00~19:00)

■ 注意事項

※申請手続きに不備があった場合、不受理となる可能性があります。

※申請期間外の申請は一切受け付けません。

※本学学生補助金制度に係る予算の執行状況等を勘案し、卒業年次(4年次)の学生からの申請を優先的に取り扱う場合があります。

また、予算の執行状況によって、実際の支給時期が遅れる場合も想定されますので、その旨、御了承ください。

問い合わせ先 **沖縄国際大学キャリア支援課**

その他詳細等については、ポータル(学内掲示)に情報を掲載しているので、そちらでご確認ください。

～活躍する卒業生たち～



Ryo Kiyuna

喜友名 諒

総合文化学部 英米言語文化学科
2012年度卒業

誰よりも強い突きと蹴りを求めて

「空手」と聞けば、体育の授業で経験した方も多いのではないのでしょうか？

空手は、琉球王国時代に沖縄古来の武術と中国武術が融合して誕生した、沖縄発祥の武道です。琉球王国時代は士族の間で受け継がれてきましたが、明治時代に学校体育に採用され、大正時代に沖縄県以外に、昭和初頭に海外に紹介されるようになったそうです。

その空手でいまや、世界で向かうところ敵なし。英米言語文化学科卒業生の喜友名諒さんは、東京五輪の日本勢で金メダルに近いと注目をされています。喜友名さんがどのような経験をしてきたか、またこれからの展望などについて、いろいろとインタビューしました。

空手を始めたきっかけと、師匠の佐久本先生との出会いについて教えてください。

空手は5歳のころに友達の影響で始めました。それから道場と学校の部活動で空手を続けていたのですが、中学校での最後の大会を終えて、少し燃え尽きてしまったような感覚に陥っていました。そんなとき、両親も私を奮起させようと思ったのか、佐久本先生の道場の見学を勧められました。道場を見学させて頂いて、とにかく凄みに圧倒されたのを覚えています。自

分の気持ちの方がまた熱くなるのを感じ、先生の背中を追いかけて世界を目指してみたいと思いました。佐久本先生は選手としても世界の頂点に立ち、現役を退かれた後も、世界トップの選手をずっと輩出し続けています。空手以外の人間性などにおいてもとても尊敬する部分が多く、選手としても指導者としても目標とする先生です。

進学先として沖縄国際大学を選んだ理由を教えてください。

高校卒業後の進路を考えるにあたり、まずは佐久本先生の元で空手を続けたいという考えがあり、県外への進学は選択肢にありませんでした。高校の先生や先輩方にもいろいろと相談をして、本学の教職課程がとても素晴らしいという評判を聞いていました。私は将

来的には空手の指導者にもなりたいたいと考えていたので、教職課程で学ぶことは自分の一つの武器になると思いました。また、英語が好きな科目であったこともあり、学科は英米言語文化学科を選択しました。



大学生生活の4年間で達成したい目標などはありましたか？

学業と空手をしっかり両立したいというのが、入学前の目標でしたが、そう簡単なものではなく、教職課程については途中で断念せざるを得ませんでした。しかし、絶対に空手で日本一になるという最も大きな目標は、大学4年次のとき達成することができました。学業面においても、卒業論文では空手を取り上げ、自分

のアイデンティティと学業成果を結びつけることができたと思っています。空手の歴史を探って、知り合いの海外選手などにもインタビューを行い、沖縄発祥である空手文化の世界への広がりについて調べました。卒業式では、空手での功績を評価して頂き「学長賞」を頂きました。大変光栄なことだったと思っています。

～活躍する卒業生たち～

卒業後の空手での成績や今後の展望について教えてください。

卒業してからはより一層、空手の稽古に精進しました。2014年には初めて世界選手権で優勝することもできました。2016年には東京オリンピックの正式種目に空手(個人形)が決定し、五輪の金メダルというのも自分の目標の一つとなりました。いよいよその五輪も近づき、最近では応援してくださる皆さんからの声

も本当によく聞こえるようになりました。私の空手をみて元気がでたと聞くのはとても嬉しいですし、力にもなります。今年は世界選手権の4連覇と日本選手権の9連覇がそれぞれ新記録になるので、沖縄県勢初の五輪金メダルも含めて、これらをしっかりと目標に据えて頑張っていきます。

喜友名さんにとって空手の魅力とはどのようなところでしょうか？

私がやっている空手は形競技ですので、なかなか数値として表すことは難しいのですが、「誰よりも強い突きと蹴り」を目指しています。空手の魅力は、まず沖縄の文化であるということです。それを、何の道具も必要とせず世界中どこへ行っても、自分の体と心ひとつで表現することができます。そこは大きな魅力だと感じています。将来的には指導者として世界チャンピオ

ンを目指せるような選手を育成したいという気持ちもあります。劉衛流の技も自分の教え子に伝えて、受け継いでいって欲しいと思っています。今、空手家として生活ができて人間はそう多くはありません。幸い私はそれができていますが、そのような面でも次の世代が続いていけるような環境作りもしていければと思っています。

最後に受験生や在学生へメッセージを！

大学生になるといろんな部分で「責任」というものがついてきます。その分、自分で決断できることも増えてくると思います。学業面についてももちろんですが、それ以外の部分でも、しっかりと自分のやりたいことを見つけて、そこに懸命に取り組んで欲しいなと思

います。私は今からでも大学に入り直して勉強したいと思うほどです。皆さんは今まだたくさん時間があると思います。その大切な時間を無駄にせず、自分の成長に繋がられるような大学生活を送って下さい。



喜友名 諒

きゆうな りょう

総合文化学部 英米言語文化学科2012年度卒業
 本学4年次の時に自身初の日本選手権優勝を飾る。以来、日本選手権8連覇、アジア選手権4連覇、世界選手権3連覇を成し遂げ(いずれも継続中)。絶対王者と呼ばれるに相応しい戦績を誇る世界屈指の空手形競技選手であり、東京五輪2020では最も金メダルに近い日本人選手として大いに期待されている。



一秒でも速く駆け抜けるために

大学1年生のとき、自主トレーニング中の事故から人生の転機を迎えた喜納さん。長期の入院生活の中で同級生とともに卒業するという目標をかなえるため、周りや先生のサポートを経て、本学を卒業することができました。

大学卒業後に車いす陸上に出会い、その疾走感の虜となり競技を始める。その後、トレーニングに励み、2017年に日本パラ陸上競技連盟強化指定選手になるまで成長しました。今も、自己記録更新を目標に厳しいトレーニングの日々を過ごしています。

様々な困難を乗り越え、今も駆け抜けているエネルギーは何か?喜納さんにいろいろインタビューしてみました。

□ パラスポーツの中でも車いすマラソンを選んだきっかけを教えてください。

最初は陸上をやるなんて思ってもいませんでした。ましてマラソンなんて長い距離が一番苦手の分野でしたが、今のコーチに声をかけていただいたのがきっかけです。はじめてレーサー（陸上競技用車いす）に乗ったときの感覚は今でも鮮明に覚えています。視線が低く、実際のスピードよりも体感速度が早くて一気に陸上に嵌っていきました。



車いすマラソンは通常のマラソンより速く、女子でも1時間35分でフィニッシュします。選手は身体状況に合わせたサイズ・素材のレーサーに乗って、最速のタイムを目指します。レーサーのセッティングやメンテナンスも大切で一人では決してできないスポーツで、追求し続けるスピードが、車いすマラソンの魅力だと思います。



□ 進学先として沖縄国際大学を選んだ理由を教えてください。

高校生のときの将来の夢が国語科の教師になることでした。教員免許を取得すること自体は県外の大学でも可能ですが、沖縄国際大学の教職課程は教員になるための学びは厳しいが、しっかりと学べる環境が

あると話を聞きました。また、冲国大では沖縄に関する講義も多く、生まれ育ったこの沖縄のことをしっかりと勉強したいという思いもあり進学先に冲国大の日本文化学科を選びました。

□ 大学生活はどのようなことをしていましたか？

また、4年間で特に印象に残っていることはありますか？

大学1年生のときに怪我をしてしまい車いす生活となったのが、大きな人生の転機となりました。私は教職課程の他に図書館司書課程も受講しており、資格取得のために必要な科目取得は、入院生活を1年送った私には時間が足りませんでした。それでも、留年や休学はせずに卒業したいという私の目標を、当時の日本文化学科の学科長であった山口先生がサポートしてくださいました。月に1度、病院へ来てくださり講義

いただいたのです。本当に、感謝してもきれないくらいだと思います。他の先生方にも多く助けていただき、無事に卒業という目標を達成することができました。

振り返れば、当時は精神的にもきついこともありましたが、多くの方々の支えと、人の温かさを感じてきました。その経験がなければ、今の私はなかったです。本当にありがとうございました。

□ 競技者としての現在の目標と東京パラリンピックへの想いを教えてください。

とても素晴らしい環境の中で競技をさせていただいていることを実感しています。私ができることは、日々のトレーニングに手を抜くことなく、1秒でも記録を縮めていくことだと思っています。

東京パラリンピックについてはまだ出場枠を獲得していないので、まずは枠の獲得を目標としています。

2021年のWPAマラソンワールドカップが選考大会となる予定なので、それまではひたすら競技力の向上を目指していくのみです。

今年は多くの大会が中止・延期となっている中ですが、目標はあくまでも私自身の記録の更新なので、自分自身としっかり闘い続けていきたいと思っています。

□ 車いすマラソン(またはパラスポーツ全体)の普及について考えはありますか？

少し前に比べると、東京パラリンピックの影響が大きく、パラスポーツへの注目度も格段に向上していると感じています。その時期に選手として活動できることはすごく幸せなことで、多くの方に応援の声をかけていただいています。

今は選手として、記録を縮めることが第一ですが、「競技を目にしたことがある、選手に会ったことがあ

る。」そういう経験が一番パラスポーツを身近に感じて興味を持っていただくことに繋がるのかなと思っています。

最近では小・中・高校などに、講師として声をかけていただく機会も増えてきています。時間が許す限り、子どもたちとの交流の場へ積極的に参加していきたいです。

□ 最後に受験生や在学生へメッセージを！

皆さんは夢や目標を持っていますか？

持っている人は自分が目指していることを言葉にもしてほしいと思います。まだ夢が明確でない人も、目の前にあるやらなければならないことを一所懸命にやること。その姿を見ている人は必ずいます。そして皆さんが夢を見つけたとき、壁にぶつかったときにこ

れまでの皆さんを見てきた人が支えとなってくれます。ぜひ人から応援される人になってください。

そして、今しかできないことも数多くあります。何事も前向きに、積極的に取り組んで、楽しむことを忘れないでください。皆さんの未来に幸があることを願っています。



喜納 翼
きな つばさ

総合文化学部 日本文化学科2012年度卒業

大学2年に上がる直前に、トレーニング中の事故により車いす生活となる。およそ1年入院生活を送るが、周囲のサポートもあり4年で大学を卒業。高校国語科教員免許・図書館司書資格を取得。2013年より車いす陸上を始め、2016年に大分国際車いすマラソンにて初マラソン初優勝。2019年の同大会で1時間35分50秒の日本記録を樹立。2019年WPAマラソン世界ランキング4位。



11月16日

日文3年生の西さんが「2019年度JAL中国語スピーチコンテスト」で準優勝! おめでとう!

2019年11月16日、JTA本社ビルにて「2019年度JAL中国語スピーチコンテスト(沖縄大会)」が開催され、本学からは3名の学生が出場、日本文化学科3年生で兼本敏先生の比較文化研究室で学んでいる西千裕さんが見事2位に輝きました!西さんのスピーチでは「私と中国語(私の中国語歴)」というテーマで、将来、中国語を活かし、沖縄の観光産業の発展に貢献したいという思いを伝えました。「今回、準優勝を頂いたことで自分の中国語に自信を持つことができ、留学への志も高まった。今の自分に納得するのではなく、更に高い目標を持って今後も様々なことに取り組んでいきたい」と西さん。



12月6日

「第11回学内韓国語スピーチコンテスト」を開催!

韓国語コンテストは、本学の学生に韓国語で意見発表する場を提供し、韓国語力の向上に貢献することを目的として、開催されています。今回は、17名の学生が登場し、韓国語を学び始めたきっかけや、将来の夢、留学を通して学んだことなどを発表し、日頃の学習の成果を披露しました。最優秀賞に輝いたのは、「書道とともに韓国へ渡る」という題で、幼い頃から学んできた書道を通じた交流について語った中村涼香さん(日本文化学科1年)でした。



12月7日

【南島研】第41回 南島文化市民講座 2019年度協定校間国際学術交流講演会 「沖縄と韓国の若者文化」を開催

南島文化研究所は、第41回 南島文化市民講座/2019年度協定校間国際学術交流講演会「沖縄と韓国の若者文化」を開催しました。「沖縄と韓国の若者文化」をテーマに4人の研究者(副 兪 姁 CHOI Yujun:全南大学校 湖南学研究院、崎濱 佳代:沖縄国際大学、최 경 CHOE Hyegeyoung:全南大学校 湖南学研究院 研究教授、打越 正行:南島文化研究所 特別研究員)が、それぞれの研究分野から報告を行いました。



12月10日

「沖縄デジタル映像祭2019」CM部門 企業賞を受賞!

総務省沖縄総合通信事務所、沖縄情報通信懇談会が主催する「沖縄デジタル映像祭2019」にて産学情報学科3年次、浦崎直之さんが企業賞を受賞しました。沖縄デジタル映像祭は、地域メディアコンテンツの制作促進やクリエイターの発掘・育成を目的とした映像コンテストで、優れたデジタル映像作品の表彰やセミナー等を開催しています。沖縄デジタル映像祭2019に応募した浦崎さんは、フォーモストブルーシール株式会社の「ポーラベアイメージCM」をテーマとしたCM作品「おいしいタギツケ」を制作し、企業賞を受賞しました。



12月20日

日本学生支援機構優秀学生顕彰の社会貢献分野の奨励賞に選ばれました!

経済学部経済学科4年次(2019年度卒業)の高良翔太さんが、日本学生支援機構優秀学生顕彰の社会貢献分野の奨励賞に選ばれました。日本学生支援機構の優秀学生顕彰とは、経済的な理由により、修学に困難がありつつも、優れた業績を挙げた学生に対して、奨励・支援し、21世紀を担う前途有望な人材の育成に資することを目的としたものです。高良さんは、沖縄県学生献血推進協議会に所属し、輸血を必要としている方と輸血協力者両者の気持ちを届けあう「七夕献血キャンペーン」、小学生に献血の大切さを学んでもらう「キッズ献血教室」に取り組みしました。また、九州ブロック学生献血推進協議会の会長等を歴任し、大学内では公認サークルを設立・献血推進活動に尽力したことを高く評価され、2018年度の学生部長賞に選出されました。これらの功績が認められ、今回の受賞となりました。高良さんは、病気や事故などで困っている人を助けるボランティアを続けていくことが夢で、卒業後も災害救助や救急救命のボランティアで多くの命を救いたいという希望を持っているそうです。これからの活躍も期待しています。



12月22日

本学陸上部が沖縄県男子総合駅伝競走大会で11連覇!

「第12回沖縄県男子総合駅伝競走大会」で本学陸上部が11連覇を達成し、前津学長へ結果報告を行いました。学長からは今回の快挙に対し、「(第1回大会を除いて)これまでずっと優勝し続けているプレッシャーの中で11連覇出来たことは大変喜ばしいことです。後輩たちはこの伝統を引き継いで日ごとの練習を頑張ってください」と激励の言葉がありました。11連覇おめでとうございます!!



1月10日

学内オープン授業を行いました

「沖縄の基地問題B」で学内オープン授業「沖縄の有機フッ素化合物(PFAS)汚染と水の危機」を行いました。「沖縄の基地問題B」は、米軍基地の環境問題を中心に、The Informed-Public Project代表の河村雅美先生が講義をしています。身近にある基地からの汚染問題を、基地に隣接する沖縄国際大学に在籍、あるいは在職する皆さんと授業を通して共有したいという目的から、学内オープン授業という回を設けました。当日は多くの学生や教員の参加がありました。



1月11日

アジケイコンペ決勝に本学から6チームが参加!

那覇市のてんぶす那覇にて第3回アジケイコンペ決勝プレゼン大会(主催:沖縄県農工商労働部アジア経済戦略課)が行われました。アジケイコンペは、沖縄県の経済発展戦略(アジア経済戦略構想)の一環として行われているイベントで、県内の企業から提示された課題に対して、高校・大学等に通う若者がその課題を解決するための方法を提案するというものです。第3回大会は、本学の経済学科、地域環境政策学科、企業システム学計6チームが決勝に進出しました。本学のチームは惜しくも入賞を逃しましたが、今回のような大舞台でプレゼンをした経験が今後の学生生活や就職活動にもいきとくと思えます。決勝大会に参加した皆さん、お疲れさまでした!



1月22日

西岡敏先生が「第1回国立劇場おきなわ新作組踊・戯曲大賞」の奨励賞を受賞しました!

沖縄の伝統芸能の保存振興を図ることを目的とした「第1回国立劇場おきなわ新作組踊・戯曲大賞」の選考結果が2019年12月26日に発表され、奨励賞(2位)には西岡敏先生の「京阿波根仁王立」が選ばれました。選考審査委員は作家の大城立裕さん、伝統組踊保存会会長の眞境名正憲さん、県立芸術大学学長の比嘉康春さん、演出家の富田めぐみさん、国立劇場おきなわ芸術監督の嘉数道彦さんが務めたそうです。



2月10日

宜野湾市と「包括連携協力に関する協定」を結びました

本学は、兼ねてより構想のあった宜野湾市と「包括連携協力に関する協定」を結びました。本学は、これまで宜野湾市の複数の部署や外郭団体、地域自治会の皆様との相互協力の下、様々な事業を通して「まちづくり」「健康福祉社会づくり」「教育、文化の振興」に参画してまいりましたが、この度、改めて包括協定を結ぶことで、双方の窓口が明確となり、情報、資源等の提供、連携事業への取り組みの迅速化に結び付き、より地域活性化に繋がることが期待されます。



2月16日

地域の公民館やJICA沖縄などに 英語翻訳版・沖縄の昔話絵本を寄贈しました!

日本文化学科では、3年生から受講できるアドバンス科目の1つとして、「児童文化論」[アカデミック・セミナー]という1年間の科目を通して、沖縄に伝わる民話・昔話を子ども向けにアレンジし、イラストを描き、英語に翻訳して、糸や段ボールなどを使って世界に1冊しかない手作りの絵本をつくり、地域の読書施設に届ける活動を15年近く続けています。今年もたのしい絵本がたくさん完成しましたので、2月中旬より、寄贈の希望があった読書施設や日ごろから学生の実習でお世話になっている施設に寄贈させていただいています。



2月17日

髭白ゼミが沖縄市「学生と連携するためのまちづくり勉強会」で報告を行いました!

企業システム学科・髭白ゼミは、沖縄市中心市街地活性化協議会主催「学生と連携するためのまちづくり勉強会」(会場:沖縄市一番街商店街・大丸商店)で、ゼミ学生によるまちづくりのためのプロジェクト活動報告を行いました。企業システム学科・髭白ゼミ(3年次)では、沖縄市中心市街地ならびに商店街が抱える問題に対して、学生の目線からまちづくりの実践と提案を行うことを目的として、約1年間にわたって沖縄市中心市街地活性化協議会のご協力のもと活動してまいりました。勉強会では、2019年11月24日にゼミ学生が沖縄市一番街商店街で実施したFC琉球パブリックビューイングの成果報告をさせていただきました。



2月21日

学生芸能祭を開催しました!

2月21日(金)、浦添市アィム・ユニバースでたごホールにて本学芸能サークル5団体有志による「学生芸能祭」を開催しました!学生芸能祭を企画したのは、伝統エイサーサークル「琉球風車(りゅうきゅうかじまやー)」と創作エイサーサークル「鼓舞楽団 浦風(こぶがくだん うらかじ)」、琉球舞踊や各地に伝わる民俗芸能を学ぶ「琉球芸能文学研究会」、フラダンスサークル「Kailua Hula OKIU」、ベリーダンスサークル「中東芸能クラブ」の5団体。それぞれの地域の行事や自主公演、遠征などを通し、各団体は精力的に活動を行っていますが、それぞれの魅力を「沖国大の芸能サークルの魅力」として、若者の方で発信することで若い世代の皆さんにももっと芸能に触れ合う機会を持ってもらいたい、「学生芸能」を通して地域貢献がしたいと、自主的に企画されました。

3月19日

私立大学等改革総合支援事業 「タイプ1特色ある教育の展開」に選定されました。

文部科学省が実施する「令和元年度私立大学等改革総合支援事業」において、「タイプ1特色ある教育の展開」に選定されました。「タイプ1特色ある教育の展開」の申請校数(大学・短大・高専)583校、選定校数178校、選定率31%でした。令和元年度「タイプ1特色ある教育の展開」は、沖縄県では、本学が唯一の選定校です。これは、本学で実施しているアクティブラーニング、IR情報を活用した教育課程の検証、高大連携の取組等が、教育の質向上に向けた教育機能の強化を推進していること認められたものです。本学は、今後も特色ある教育研究や高大連携の強化等、更なる改革・改善に努めてまいります。



3月19日

令和元年度 卒業式・大学院修了式を挙行了しました!

第48回卒業式並びに第22回大学院修了式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に十分な配慮を心掛けながら、例年のような、体育館での式典ではなく、各学科、大学院に分かれての分散開催と致しました。形式は少し異なりましたが、卒業生の華やかな姿や和やかな雰囲気キャンパスは包まれました。

4月16日

LINE進学相談会の開催について

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により高校生向けの進学説明会が中止するなか、本学では「LINE」を利用した進学ガイダンスを初開催しました。ステイホームの中、入試制度や学科の教育内容に関する質問を本学スタッフが回答しました。LINE進学相談会は継続して開催していきます。



5月14日

琉球風車が動画投稿企画にて「元氣」を配信!

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い外出自粛が続く中、多くの方々に元気を届けようと本学エイサーサークルの「琉球風車」は、唐船ドリーの曲に合わせてカチャーシーを踊る動画をSNSに投稿するプロジェクトを始めました。「#おうちでカチャーシー」のハッシュタグを付け、撮影した動画を投稿し、参加することが出来ます。同プロジェクトは本学国内協定校・桜美林大学サークル「桜風エイサー琉球風車」のメンバーと共に協力し、4月からスタートしました。



本学卒業生や企業よりマスクの提供をいただきました!

新型コロナウイルス感染症の影響によりマスク不足が懸念される中、本学卒業生や企業様よりマスクの寄贈をいただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。



5月1日(金) マスク3,000枚

方徳輝様
(旧文部部英文学科卒)

何守成様
(旧商経学部経済学科卒)
泉川友樹様
(旧文部部社会学科卒)



5月15日(金) マスク1,000枚

琉球警備保障株式会社様



5月25日(月) マスク5,000枚

沖縄マスクプロジェクト
(沖マス)

羽地広大様
(英米言語文化学科卒)
上原慶大様
(経済学科卒)

寄贈いただきましたマスクは、
本学学生のために有難く
活用させていただきます。



OKIU 研究室探訪



AI(人工知能)についてどれだけ知っていますか?

近年、見聞きすることの多くなった「AI」や「人工知能」という言葉。しかし、それらが何を指しているのか、具体的に説明できる人は少ないかもしれません。近い将来、「AIが仕事を奪っていく」または映画のように「人類を滅ぼす」という極端な脅威論まで唱えられているAI。しかし、みなさんも自分のスマホに「Hey Siri!」「OK Google!」などと声をかけたことがあるのではないのでしょうか?留守中にお部屋の掃除をお掃除ロボットにさせていませんか?電子レンジにまでAIが搭載されたものもあるそうです。

私たちは普段あまり意識することは少ないですが、身近にたくさんのAIが存在しています。これだけ私たちの生活に溢れていて、今後ますますの進化が期待されるAI。今回は、AI(人工知能)などの複雑系工学を専門とする産業情報学科の曹真先生に、AI(人工知能)とは何なのか、これからの私たちの関わり方など、いろいろとお話を伺いました。

AI(人工知能)とは具体的にどのようなものを指すのでしょうか?

簡単に説明すると、人間の代わりに物事を考え、判断し、行動して、生活をより便利に、豊かにしてくれるコンピューターです。特に私たちがやると途方もなく時間が掛かったり、ミスを頻発してしまったりするような仕事を、瞬時に、正確にこなしてくれます。私たちの生活の中では、インターネット検索、監視カメラ、スピーカー、掃除ロボットなど、生活の各所にAIが利用されています。スマートフォンもそうですね。スナップ写真の中から特定の人物を抽出したり、本人の顔でロックを解除したり、これらはAIによる画像認識が成せる技です。また、画像認識は自動運転技術の肝で、障害物や標識の判別に使われています。医療分野では、レントゲンや内視鏡などと、AIを組み合わせた画像診断技術があります。ガンなどの発見では、人間の医師よりも迅速で正確といった報告も出てきています。そして、AIによる音声認識機能を活用し、ある程度の会話も可能となってきています。AIのアナウンサーも、テレビ・ラジオ幾つかの局で少しずつ導入されてきています。今後、私たちの生活には、さらにAIが入り込んできます。それらを活用できるよう、日ごろから関心を持っていると良いですね。

先生が人工知能やロボットを教えるに至った経緯などを教えてください。

私は学生時代から、複雑系工学という学問に従事しています。複雑系工学とは、ものづくりを通じて事の本質を明らかにする。そのような科学分野のひとつです。一般に科学では、研究対象の全体を細かい部分に分けて、その仕組みを明らかにしていくという手法を取ります。しかし、世の中にはそれでは解決できない問題が沢山あるんですね。例えば、人間の心ってなんだろう。脳や心臓を解剖したらその素が出て

くるかな?でも細胞レベル、さらに原子レベルまで分解していても、そんなものは見つからないわけです。不思議ですよ。そういった複雑怪奇な問題に対して、じゃあゼロから研究対象の模倣品を作ろうと挑戦して、その取り組みの中で、対象のしくみを明らかにしよう。通常の科学とは逆のアプローチを取るのが複雑系工学です。その研究の一環に、人工知能やロボットの開発があったんですね。

講義では学生にどのようなことを教えているのでしょうか?

学生達には自ら問題を発見・設定する力を育てたいと考えています。そのために、人工知能やデータを扱う講義では「分析」、ロボットの組み立てと操作を扱う講義では「実装」といった演習を出来る限り多く課します。知識もさることながら、考えを巡らせ手を動かす中での試行錯誤こそが、問題発見力、言い換えると理想を描く力を身に付けるために必要な経験になるんです。問題や目標の設定というのは、AIやロボットの役目では無いですから、これからより良い社会をつかっていくためには、人間が身に付けておくべき必須の能力なんです。

今、なぜここまでAIが話題になっているのでしょうか?

きっかけは、近年開発されたディープラーニングという技術ですね。これによって、コンピューターは自律的に物を認識する目を獲得しました。コンピューターに猫を認識させる場合、以前は、人間が猫の特徴を分析して、コンピューターにそれらを教えてやる必要がありました。丸い顔があつてね、三角の耳があつてね、長い髭があるのが猫だよ、といった感じです。それって、技術者にとって骨の折れる作業なんです。しかしディープラーニングを使えば、猫の写っている写真を何枚か見せるだけで、

あー、猫ってこういうものねと、その特徴をコンピューターが自ら掴み取って、猫を認識してくれるんです。しかも、適切な画像を十分な量与えると、人間の目が持つ認識精度を優に超えてきます。さらにすごいことに、実はディープラーニングのしくみは単純でして、それゆえ、いろいろな分野に応用が利くんです。この技術は、音声認識を始めロボットにおける身体動作の獲得にも使われ、様々な業界に革新をもたらしています。

AIもそうなのですが、 ロボットも話題になっていますね。

AIはロボットを進化させます。そしてロボットの台頭は、AIに新しい大量のデータを提供します。その好循環は、ひいては人間の生活をより快適なものにしてくれます。人の動作は実に複雑で、以前のロボットにはなかなか真似ができませんでした。しかし、ディープラーニングのおかげで、ロボットの動作は格段に向上したんですね。柔らかいものを壊さずに掴んだり、体全体の反動を利用して宙返りしたりと、コンピューターは精度の高い目に続いて、しなやかに力強い体を獲得しました。それらの特性を活かして、介護の現場や、危険な場所の探索など、既にいろいろな場所でロボットが活躍しています。ロボットが仕事から得たデータを、さらにAIは分析します。いずれは人の体調管理からエンタテインメント、政治経済まで幅広い分野に対して、新しいヒントを出してくれるかも知れません。

脅威論のようなものを 耳にすることがありますか？

これは正しくない捉え方です。むしろAIは人間と共にあり、夢と希望を与えてくれる存在になります。まず押さえておくべきは、人間の脳は二つの力を備えているということです。一つ

は知能です。ここで言う知能とは論理を組み立てる力を指します。問題を解決に導く力ですね。そしてもう一つは意識です。意識とは物事を感じる力です。動機のきっかけに繋がるものを指します。感性といった方が分かり易いでしょうか。人間はこの二つの力を使い、理想とする世界を築いてきました。それに対して、人工知能は知能の部分しか持ち得ないんですね。どこまで行っても論理の世界で、どんなに知能が高度化しても、それが動機に繋がることはありませんので、人間のように自発的に、これをしてい!!と考えることはありません。です。人間はこの世に必要なから減ぼさなくては!なんてことにはなり得ません。この先、コンピューターは人間の良き相棒となってくれるはずですよ。

脅威論の中でも「AIに人間の仕事が奪われる」という話をよく聞きますが、奪われるというよりもシフトすると言った方が的確ですね。今まで面倒くさい、大変で処理しきれないとしていた仕事はAIやロボットに任せて、人間はより価値のある新しい仕事に移っていきます。人間は、AI・ロボットと共に働くことになり、その中で人間の仕事はアップデートされていきます。例えば放送局などですと、人工知能には、日々の事務処理や原稿のまとめ、人々の意識調査、同時字幕放送や災害時の昼夜を問わない放送を任せることができます。特に沖縄であれば、うちな〜ぐちへの自動翻訳も興味深いですね。そのように人工知能を活用する一方、アナウンサーの方々であれば取材に時間を割いたり、自身のスキルアップに努めたり、伝えるプロフェッショナルとしてコミュニケーションの講座など、新しい試みに挑戦したりできます。他にも農業、建築業、小売業、飲食業など、様々な業種において、コンピューターとの協働により、ヒントと時間を与えられた人間は、自分の本分とより向き合えるようになります。

AIやロボットが台頭し、社会が大きく 変わっていく中で、私たちはどのように 生きていけば良いのでしょうか？

感性を磨いて欲しいと思います。これからは人間らしさが特に重要になってきます。科学が発達した世界では、人の頭も論理的な思考に偏ってくるんですね。物事を進めるにあたって、論理の重要性は言うに及ばないのですが、しかし問題に立ち向かっていくきっかけやエネルギーってというのはいつだって感性の部分なんですね。自分は何がしたいか、自分自身で気づき、それを受け入れましょう。感性を磨くには、旅行でも音楽でもゲームでも、何かに没頭するのが良いことと思います。要は、論理の枠組みにがんじがらめになって、やらなきゃいけないことで頭をいっぱいにしなさいことです。学校やバイトなどで忙しくしている方は、一歩引いて、俯瞰で自分自身を見つめるだけでもだいぶ違ってくると思います。論理と感性、それらの調和が取れると理想的ですね。自分の中で、何がやりたいかははっきりとしたビジョンを持ち、それを実現するために、賢くコンピューターを利用する。これからの世の中はそうあるべきと考えています。

産業情報学科に興味のある 高校生や在学生にメッセージを

まずは自分の「好き」を見つけてください。それによってはじめて将来を見据えた目標を立てたり、目の前のことに没頭したり出来るようになります。それが出来る人は、これからの社会において、誰より遅く生きていけますし、何より必要とされる人材になります。興味のままに追求していくことは大いに結構で、周囲に遠慮する必要はありません。AIやロボットをはじめとしたITの力で、いずれそれらは社会を支える力にアップデートされていきます。好きなことをして生きていけるベースは出来上がりつつあるんです。産業情報学科は皆さんの「好き」と社会を繋げる学科です。自分の理想とする生き方を追い求めていきたい、それを通じて、家族をはじめ、地元地域、沖縄県、ひいては日本や世界を支える人材になりたい、人にやさしく、実りある豊かな社会を、自身で築いていきたい、そのような思いを抱いている方は、是非とも産業情報学科を訪れてください。



曹 真
そう まこと

産業情報学部 産業情報学科 准教授

琉球大学大学院理工学研究科博士後期課程
総合知能工学専攻 修士 工学博士
2014年度に本学へ着任。担当科目は「情報処理基礎」「情報化社会と教育」「ロボットシミュレーション」「プログラミング」「卒業論文演習」など

沖縄eスポーツサークル

1

部長

仲村 亮我

(なかむら りょうが)

入部方法

Twitter (@esport2019)
に連絡してください!

部活動場所

13号館の会議室、学外
の施設



私たちeスポーツサークルは昨年に設立された新興サークルです。前身に学内で行われている産学連携共同プロジェクトがあり、県内の企業やメディアと提携して企画・運営・選手として参加してきました。また、新興サークルながら他の県内大学と協力して大学eスポーツフェスと称し対抗戦も行ってきました。その他県内のゲームイベントにもスタッフや選手といった形で参加しています!そこまでガチじゃないから無理という君も大丈夫!初心者でも大会に参加できるチャンスが沢山あります!あなたの「やりたい」ができるサークルです。



男子ソフトボール部

2

部長

宜保 黎也

(ぎぼ れいあ)

入部方法

活動日に野球場にて部員
までお声かけください!

部活動場所

沖縄国際大学 野球場



私たち男子ソフトボール部は部員は少ないですが、全日本大学ソフトボール選手権大会出場を目標に日々練習を頑張っています!

春・秋共に九州大会に出場して県外の強豪と全国大会出場をかけた熱い試合を繰り広げています。

経験者、初心者ともに大歓迎です!部員全員仲が良く、学年の上下関係なく楽しく練習していて、雰囲気がとても良いです。練習は毎週月曜日に野球場でやっている所以気軽に体験・見学に来てください。僕らと一緒にソフトボールを楽しみましょう!



ペーパークラフトサークル

3

部長

譜久里 健吾

(ふくざと けんご)

入部方法

17AC083@okiu.ac.jp
へ連絡 or 部室まで

部活動場所

サークル棟204号室



ペーパークラフトサークルは『紙』を使って平面から立体まで様々な作品を作ることを目的としたサークルです。初心者でも大歓迎です。優しく頼もしい先輩たちが丁寧に教えてくれます。完成した作品はオープンキャンパスや沖国祭など様々なイベントで展示します。特に沖国祭では、作品を見に来てくれた人たちに、良かった作品の感想などを書いてもらっています。それが次の作品へ取り組むモチベーションアップにも繋がり、作品づくりがさらに楽しくなっています。



軟式野球部

4

部長

儀間 拓哉

(ぎま たくや)

入部方法

お気軽に野球場へお越しください。

部活動場所

沖縄国際大学野球場



私たちは部員数14名で活動しています。朝練を中心に、火・木・土・日の週4日間練習に励んでいます。昨年は夏に全日本選手権大会出場、秋には西日本選手権大会ベスト8という成績を残すことができました。昨年の成績は、限られた練習の中で一人一人が高い意識を持つことで得られた結果だと思えます。今年は昨年以上の成績を目指し、より高い意識を持ち日々の練習に取り組んでいます。チームの仲も良く、先輩・後輩含めて全員で楽しく活動しています。部員は随時募集中で、未経験者も大歓迎です。一緒に軟式野球部を盛り上げましょう!マネージャーも募集中です!



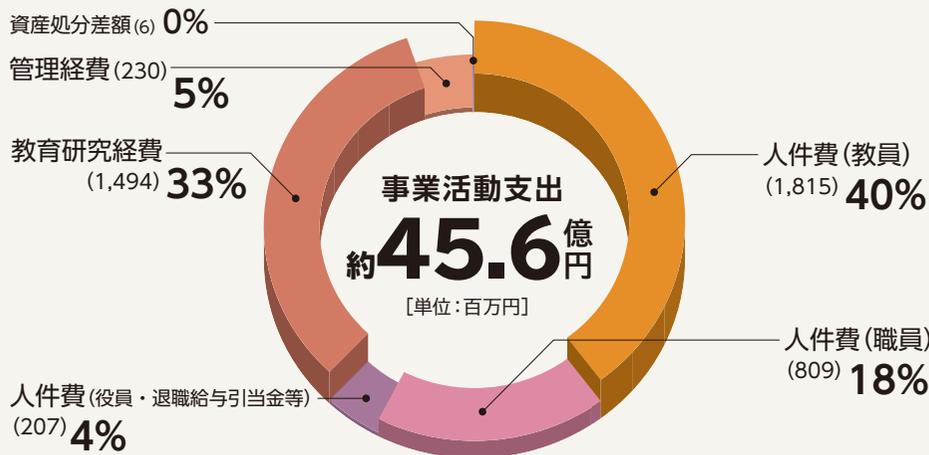
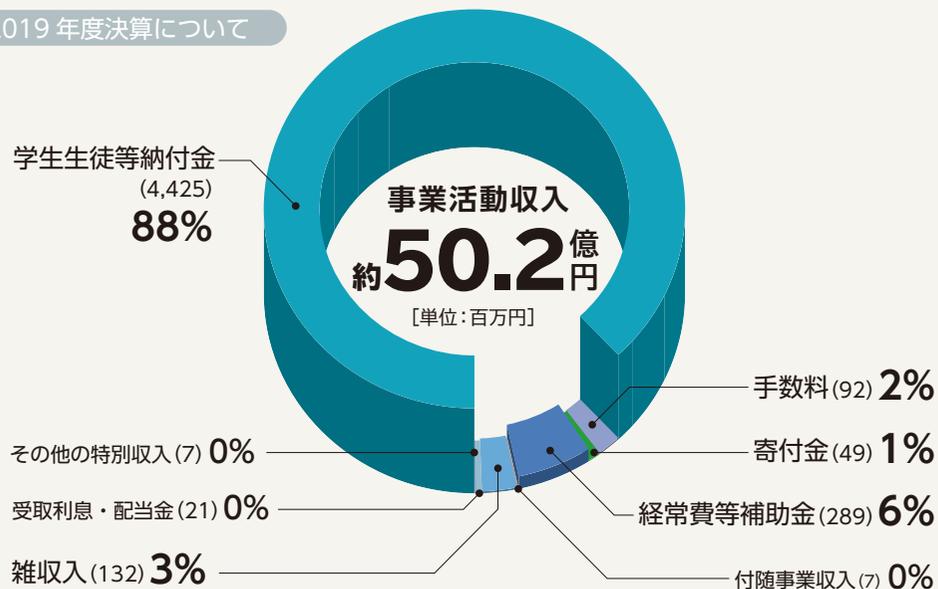
体育系サークルの主な実績

陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> ●第32回海邦国体記念記録会国体選考会 男子一般・高校800m：2位 東江樹 男子一般・高校3000mSC：2位 大城直也 ●第70回沖縄県陸上競技選手権大会兼国体選考会 男子一般5000m：3位 池田一生 男子一般3000mSC：2位 金城龍己 3位 大城直也 男子一般10000m：2位 池田一生 3位 伊是名祐希 ●第12回沖縄県男子総合駅伝競走大会 沖縄国際大学A：優勝 2時間34分1秒 ※大会11連覇 ●第37回九州学生駅伝競走大会 男子駅伝：9位(出場32校) 第一区区間：2位 池田一生 ●第47回九州学生陸上競技対校選手権大会 男子3000mSC：2位 大城直也 ●第71回沖縄県民体育大会 男子5000m決勝：3位 当真佑太 男子3000mSC：1位 大城直也 2位 伊波伶一
ラグビー部	<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄県大学ラグビーリーグ：全勝優勝
軟式野球部	<ul style="list-style-type: none"> ●2019年度沖縄県大学軟式野球春季リーグ戦：優勝 最優秀選手：城間智徳 ●第42回全日本大学軟式野球選手権大会：出場 ●2019年度沖縄県大学軟式野球秋季リーグ戦：優勝 最優秀選手：城間智徳 ●第36回西日本大学軟式野球選手権大会：ベスト8
男子ハンドボール部	<ul style="list-style-type: none"> ●第28回九州学生ハンドボールリーグ春季大会：全勝優勝 ※2部昇格
女子ハンドボール部	<ul style="list-style-type: none"> ●第28回九州学生ハンドボールリーグ春季大会：優勝 ※1部昇格
女子バスケットボール部	<ul style="list-style-type: none"> ●第23回沖縄県大学バスケットボール選手権大会：準優勝
女子サッカー部	<ul style="list-style-type: none"> ●2019あじさいカップ女子6人制サッカー大会：準優勝
卓球部	<ul style="list-style-type: none"> ●第70回全九州学生春季卓球選手権大会 男子団体一部：5位 女子団体一部：2位 男子ダブルス：ベスト8 兼島竜平・田場祥樹ペア 女子ダブルス：優勝 玉城このみ・仲真萌希ペア ベスト8 中村陽菜・仲宗根深月ペア ●第89回全日本大学総合卓球選手権大会：女子団体出場 ●天皇杯・皇后杯 2020年 全日本卓球主権大会 女子ダブルス：出場 玉城このみ・仲真萌希ペア 女子シングルス：出場 玉城このみ 仲真萌希

空手道部	<ul style="list-style-type: none"> ●第61回南部九州大学空手道選手権大会 男子個人形：優勝 島田辰夫 ●第60回全九州学生空手道選手権大会 男子個人形：優勝 高良蒼空 準優勝 池田竜晟、3位 渡慶次生馬 女子個人形：準優勝 森田果南 3位 東江茜奈 ●第45回全九州空手道選手権大会 成年女子個人形：3位 東江茜奈
フライングディスク部	<ul style="list-style-type: none"> ●文部科学大臣杯第44回全日本アルティメット選手権大会 九州・沖縄地区予選 メン部門：優勝 ウィメン部門：3位 ●第30回全日本大学アルティメット選手権大会 九州・沖縄地区予選 メン部門：優勝 最多ブロック：宮城一馬 ウィメン部門：準優勝 ●第2回全日本U21アルティメット選手権大会西日本予選：出場
自転車競技部	<ul style="list-style-type: none"> ●第31回ツール・おきなわ2019大会：出場
ボウリング部	<ul style="list-style-type: none"> ●NHK杯第53回全日本選抜ボウリング選手権大会 男子：平良直也 出場 女子：大城美幸 出場 ●第55回全沖縄ボウリング選手権大会 女子個人戦：優勝 大城美幸 女子4人チーム戦：優勝 大城美幸 参加 女子個人総合：準優勝 大城美幸 ●第56回西日本ボウリング選手権大会 男子：登川陸 出場 女子：大城美幸 出場 ●第74回国民体育大会 いきいきゆめ国体ボウリング競技 男子：登川陸 出場 ●第47回全沖縄クラブ対抗ボウリング選手権大会 男子4人チーム戦：3位 登川陸 参加 女子4人チーム戦：優勝 大城美幸 参加

文化系サークルの主な実績

吹奏楽部	<ul style="list-style-type: none"> ●第35回沖縄県吹奏楽祭：出演 ●第59回沖縄県吹奏楽コンクール：銀賞
KailuaHula OKIU	<ul style="list-style-type: none"> ●学生芸能祭：出演
スマイライフ	<ul style="list-style-type: none"> ●修学旅行生への平和ガイド
琉球風車	<ul style="list-style-type: none"> ●学生芸能祭：出演 ●福島県遠征
鼓舞楽団浦風	<ul style="list-style-type: none"> ●学生芸能祭：出演
琉球芸能文学研究会	<ul style="list-style-type: none"> ●学生芸能祭：出演

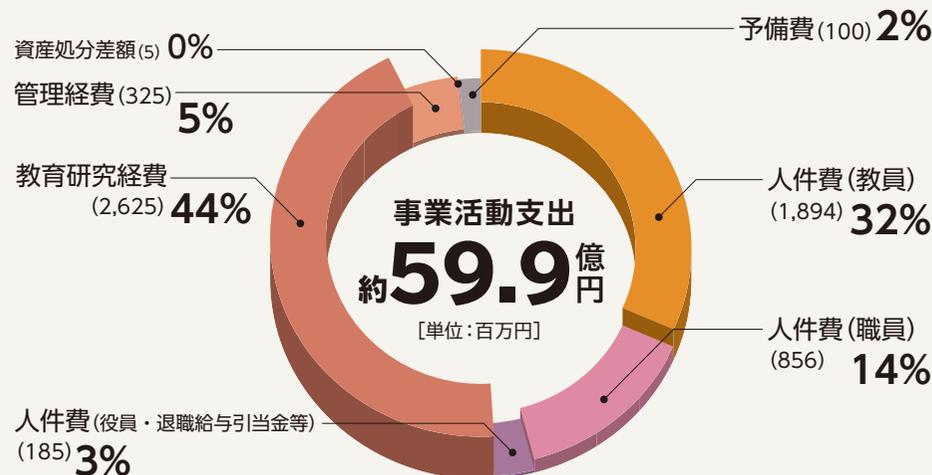
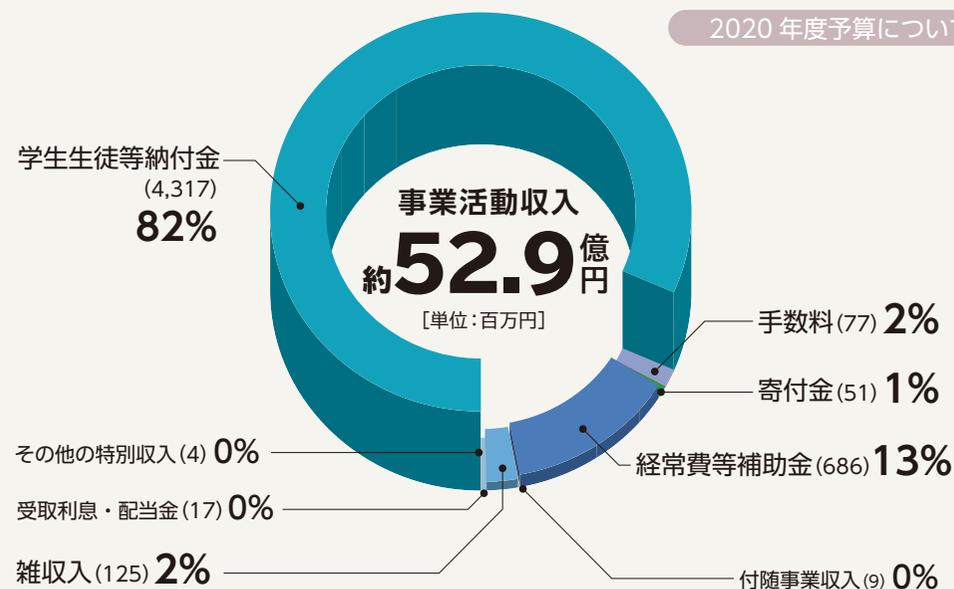


事業活動収入 **約50億円**

入学金や授業料からなる学生生徒納付金が90%を占め、その他の補助金等の収入をもとに大学運営を行っています。

最終的な収支差額 **約5千万円**

事業活動収入と事業活動支出の収支差額が約4億円ありますが、奨学基金積立のための基本金組入を行ったため、最終的な収支差額はおよそ約5千万円となっております。本学では学生の教育支援のために奨学金制度の充実を図っています。



◆ 2020年度の取組について(事業方針)

本年度の予算では、経営・財政収支安定化のもとで、学生の皆さんのために、

- ①教育力・学修力を向上させる事業、②キャンパスライフ充実事業、③キャリア教育・就職活動支援の拡充を行っていきます。教育環境では、④国際交流・外国語教育、⑤図書館および情報サービスの強化を行います。さらに、⑥研究力向上・大学院教育の拡充とともに、⑦地域交流・連携の取り組み、高校と大学の連携の強化を進めていきます。

また、学生会館の竣工による施設・設備基盤を確かなものにすることや、COVID-19に対応する施策の実行にも使われます。

※本学の財務資料・事業計画等の詳細については、本学ホームページから確認出来ます。(https://www.okui.ac.jp/about/accounts)

OKIU

学内人事

2020

採用教職員紹介(4月1日付)

①最終学歴 ②専門分野



経済学部 経済学科 准教授
鹿毛 理恵 (かげ りえ)

①佐賀大学大学院工学系研究科
博士後期課程修了 博士(学術)
②アジア経済論、国際経済論、国際的な労働移動



経済学部 経済学科 講師
大城 絢子 (おおしろ あやこ)

①琉球大学大学院理工学研究科
博士後期課程修了 博士(工学)
②バイオインフォマティクス、教育工学、言語処理



教務部 学務課 係員
島袋 勇二郎 (しまぶくろ ゆうじろう)

①沖縄国際大学総合文化学部
英米言語文化学科卒業



学生部 学生課 係員
下地 晃太 (しもじ こうた)

①沖縄国際大学総合文化学部
英米言語文化学科卒業



経済学部 地域環境政策学科 准教授
伊藤 拓馬 (いとう たくま)

①信州大学大学院総合工学系研究科
博士課程修了 博士(理学)
②環境地質学



総合文化学部 日本文化学科 講師
我部 大和 (がぶ ひろちか)

①琉球大学大学院人文社会科学研究科
博士後期課程修了 博士(学術)
②琉球芸能史、琉球文化



総合文化学部 人間福祉学科 講師
山岡 明奈 (やまおか あきな)

①筑波大学大学院人間総合科学研究科
博士後期課程修了 博士(心理学)
②臨床社会心理学



センター統括部 入試センター 係員
田原 明宗 (たはら あきむね)

①沖縄国際大学総合文化学部
英米言語文化学科卒業



教務部 研究支援課 研究支援助手
宮平 盛晃 (みやひら もりあき)

①琉球大学大学院人文社会科学研究科
博士後期課程修了



教務部 研究支援課 研究支援助手
瑞慶覧 美恵 (ずけらん みえ)

①沖縄国際大学大学院地域産業研究科
修士課程修了

退職者(3月31日付)

※特任教員&再任用職員として引き続き在籍する者は除く

職名	氏名	勤続年数
経済学部経済学科 教授	新垣 勝弘	35年(うち特任期間3年)
経済学部地域環境政策学科 教授	新垣 武	16年(うち特任期間3年)
総合文化学部日本文化学科 教授	狩俣 恵一	18年(うち特任期間3年)
経済学部経済学科 准教授	金城 敬太	7年
経済学部経済学科 講師	長嶋 佐央里	6年
総合文化学部人間福祉学科 准教授	泊 真児	9年
総合文化学部人間福祉学科 准教授	安原 陽平	4年
財務部管財課 副参事	大城 健太郎	40年9ヶ月(うち再任用期間5年)
教務部教学課 課長	山城 篤男	30年
教務部研究支援課 研究支援助手	打越 正行	2年

昇任:教育職員(4月1日付)

新職名	氏名	旧職名
法学部 准教授	清水 太郎	法学部 講師
産業情報学部 教授	中野 謙	産業情報学部 准教授
総合文化学部 教授	田場 裕規	総合文化学部 准教授
総合文化学部 教授	里 麻奈美	総合文化学部 准教授
総合文化学部 教授	藤波 潔	総合文化学部 准教授
総合文化学部 教授	知名 孝	総合文化学部 准教授
総合文化学部 准教授	比嘉 理麻	総合文化学部 講師

併任(4月1日付)

※再任の者は除く

役職名	氏名	職名
法学部長	熊谷 久世	法学部 教授
地域産業研究科長	兪 炳強	産業情報学部 教授
教務部長	西岡 敏	総合文化学部 教授
学生部長	上江洲 薫	経済学部 教授
図書館長	上江洲 純子	法学部 教授

新型コロナウイルスに対応した学生支援

新型コロナウイルスにより、従来の面接授業から遠隔授業(オンライン授業)へ転換したことにより必要になる通信環境整備費用の一部を援助することを目的に、「特例授業修学支援奨学金」を創設しました。対象は、本学で学ぶ全ての学部学生及び大学院学生(国内・国外協定校派遣留学生含む)と、国内・国外協定校からの受入れ学生です。

また、後援会奨学金・校友会奨学金にも新たな奨学金枠を設置し、より多くの学生の学びの環境が整えられるよう、支援していきます。



大学行事案内

7月 5日(日)	WEBオープンキャンパス
7月 19日(日)	WEBオープンキャンパス
7月 30日(木)～ 8月 5日(水)	前期試験・補講期間
8月 6日(木)～ 8月 31日(月)	特別補講期間
9月 1日(火)～ 9月 22日(火)	夏期休業
9月 16日(水)	再試験(秋季卒業)
9月 23日(水)～ 9月 25日(金)	後期科目Web仮登録期間
9月 27日(日)	大学院9月選抜試験
9月 28日(月)	後期講義開始
9月 28日(月)～10月 3日(土)	後期登録調整期間
10月 2日(金)	秋季卒業式
10月 16日(金)～10月 19日(月)	総合型選抜試験A日程
11月 23日(月)	出校日：勤労感謝の日
12月 11日(金)～12月 13日(日)	学校推薦型選抜、特別・編入学者選抜試験(前期)
12月 23日(水)	休校日：勤労感謝の日の振替休日
12月 26日(土)	後期前半講義終了
12月 28日(月)～ 1月 3日(日)	冬期休業

OKIU SNS

大学公式SNSでは随時情報を発信中です。LINEでは入試広報関連情報を、InstagramとTwitterでは大学構内の風景やキャンパスライフを、Facebookでは保護者や卒業生向けの情報を中心に更新しています。ぜひ一度ご覧になって下さい。



LINE
@okikokudai



Instagram
@okikokudai_pr



twitter
@okikokudai_pr



facebook
@OKIU.PR

平和・共生 個性・創造 自立・発展



沖縄国際大学



編集 | 事務局広報課 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1 TEL.098-893-7629 Email : pubchr@okiu.ac.jp

印刷 | 株式会社 東洋企画印刷